令和９年度

学 生 募 集 要 項

一般選抜

公立大学法人

三重県立看護大学

教育理念

崇高な人間性と幅広い視野を基盤に、先進的な知識と技術を教授することにより、人々がより良く生き、より良く生を終えるために、人々の生涯を通じての看護ニーズに応え得る能力を養います。これとともに看護実践に関する総合的な能力を養い、もって社会の幅広い分野において、人々の保健・医療・福祉の向上に寄与する人材育成を目指します。

さらに、看護学の進歩と独自の学問体系の確立に寄与できる将来の看護教育者及び研究者を育成します。

教育目標

1．生命の尊厳に基づく倫理観と柔軟な思考力を備え、人間を全人的に理解し、行動できる能力を養います。
2．看護の専門職に必要な知識・技術を教授し、人々がより良く生き、より良く生を終えるために、人々の生涯を通じての看護ニーズに対応し得る能力を養います。
3．保健・医療・福祉等の分野において、他職種の人々と連携し、看護をより有効的に機能させ、地域社会の保健医療ニーズに適切に対応できる能力を養います。
4．地域の生活文化・歴史等を理解し、地域特性に応じた看護実践を展開できる能力を養います。
5．自己啓発能力と研究的態度を身に付け、看護学を体系化し発展させる能力を養います。
6．国際・異文化理解とコミュニケーションの能力を身に付け、国際的視野をもって活動できる能力を養います。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

【求める学生像】

本学では、地域に根差した看護専門職者を養成する大学として、高等学校での教育段階までに次のような資質を身につけた学生を求める。

1．看護専門職者として活躍するために、社会に貢献したいという強い意思を持ち、日頃から人々の営みや社会の動き、さらにはそれらの背景に関心を寄せ、理解を深めようと努めていること。
2．看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につけるために、基礎的な学力を偏ることなく幅広く身につけていること。特に生命科学の基礎となる生物、化学については、基礎的な知識にとどまらず身につけておくことが望ましい。
3．身につけた知識を基盤に、人々の健康に関する課題を把握する能力を身につけるために、日々の生活や学習の中で、自らの考えをまとめられ、的確に判断して行動できるとともに、自らの言葉で具体的に説明できること。
4．看護専門職者としての役割を果たすためのコミュニケーション能力を身につけるため、日々の生活の中で積極的に周囲の人との交流を持ち、多様な人々とともに協働して学ぶことができる。
5．現代社会の多様性を尊重し、看護専門職者となるにふさわしい倫理観と社会的マナーを身につけているとともに、日々の生活の中で自律心を持って主体的に行動でき、自己研鑽に努める習慣があること。
6．本学の卒業生に対しては、三重県内の保健・医療・福祉分野において指導的な立場での活躍が期待されている。そのため、本学が行っている高大接続事業に参加し、地域の医療に貢献する意思を強く持ち、高校生活を通して学級活動や課外活動などでリーダーシップを身につけ、活躍していることが望ましい。

【入学者選抜の基本方針】

求める学生を受け入れるため、選抜区分ごとに多面的な評価を行う。

１．特別選抜

〈選抜方法〉

本学が実施する面接、および区分に応じた筆記試験（「基礎学力検査」または「小論文」）の結果、調査書、推薦書等の内容を総合して評価する。

〈選抜の趣旨〉

本学卒業後、三重県内の看護実践および教育・研究の場で活躍するために必要な強い情熱と意欲、資質を評価する。「基礎学力検査」を課す区分では、国語・数学・外国語・理科の試験を通じ、看護学の修得に必要な基礎的な知識を評価する。「小論文」を課す区分では、外国語の読解を含む課題を通じ、英語読解能力、論理的思考力および表現力を評価する。「面接」では、自らの考えを的確に伝える表現力、主体性、および自己研鑽し続ける意欲と適性を評価し、本学での学修に継続して取り組めるかを確認する。加えて、三重県内の保健・医療・福祉に貢献する強い意志を確認する。調査書等は面接における参考資料として活用し、高校生活における主体性や協働性を評価する。

２．一般選抜（前期日程）

〈選抜方法〉

大学入学共通テスト（6 教科 6 科目または 6 教科 7 科目）、本学が実施する個別学力検査（外国語を必須とし、国語又は数学から 1 教科選択）の得点、および面接試験の評価に調査書等の内容を総合して評価する。

〈選抜の趣旨〉

看護学の修得に必要な基礎的な知識と論理的思考力、および看護専門職者としての適性を重視して評価する。基礎学力を重視するため、大学入学共通テストの配点比率を高く設定するとともに、教科・科目の知識を幅広く評価する。個別学力検査では、外国語の読解力に加え、国語による記述・表現力または数学的な論理的思考力を評価する。「面接」では、自らの考えを的確に伝える表現力、主体性、および自己研鑽し続ける意欲と適性を評価し、本学での学修に継続して取り組めるかを確認する。

３．一般選抜（後期日程）

〈選抜方法〉

大学入学共通テスト（6 教科 6 科目または 6 教科 7 科目）の得点、および面接試験の評価に調査書等の内容を総合して評価する。

〈選抜の趣旨〉

看護学の修得に必要な基礎的な知識、および看護専門職者としての適性を重視して評価する。基礎学力を重視するため、大学入学共通テストの結果に基づき、教科・科目の知識を重点的に評価する。「面接」では、自らの考えを的確に伝える表現力、主体性、および自己研鑽し続ける意欲と適性を評価し、本学での学修に継続して取り組めるかを確認する。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

教育課程は、学位授与方針に示した能力を修得できるように、高い倫理観や豊かな人間性を育む「教養・基礎科目群」、保健・医療・福祉に関する幅広い知識を得る「専門支持科目群」、様々な看護へのニーズに応え得る専門性を育成する「専門科目群」、看護専門職者としての資質を高める「総合科目群」で構成し、以下の内容の科目により編成する。

また、教育課程の実施にあたっては、学生の主体的な学習を促す教育方法を導入し、そのための環境づくりを行う。さらに、学修成果については、学位授与方針に基づいた各授業科目の到達目標や達成度を明確に提示したうえで成績評価を行い、学生自身においてもその時々の学修の達成状況を確認できる仕組みを積極的に取り入れる。

A　人々の生命・尊厳・権利を尊重する姿勢を身につけるために、倫理学、看護倫理学等の科目を配置する。また、倫理観に基づく行動について異学年交流を通して学ぶ総合課題探求ⅠⅡを配置する。

B　人々の生活に根ざした看護を実践するために、現代社会の社会学、形態機能学Ⅰ～Ⅳ、看護学原論ⅠⅡ、臨床薬理学等、幅広い教養と専門的知識を身につける科目を配置する。

C　多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するコミュニケーション能力を身につけるために、コミュニケーション論、英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、三重を知ろうⅠ、多文化社会の課題、国際看護学等の科目を配置する。

D　様々な職種との連携において、看護専門職者としての役割を理解し、多職種による協働活動に参加するために、キャリアデザイン、市民活動論、看護管理学等の科目を配置する。

E　地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決する方策を考えるために、情報リテラシー入門、基礎情報学、看護実践の思考、三重を知ろうⅡ等の科目を配置する。

F　地域社会に暮らす人々の健康課題の解決に向けて、対象に応じた看護を提供するために、感染症や災害時の対応を含むセーフティマネジメントや、地域包括ケアシステムにおける看護を実践するための臨地実習等の科目を配置する。また、全員が保健師国家試験受験資格を得られる科目を配置する。

G　看護学に対する研究的視点をもち、主体的に学ぶ姿勢を身につけるために、日本語トレーニングⅠⅡ、看護研究入門、卒業研究ⅠⅡ等の科目を配置する。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

看護専門職者として人々の生涯を通じての看護のニーズに応え得るために、以下にあげる能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に、学士（看護学）の学位を授与する。

A　人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。（姿勢・態度）

B　人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。（知識・理解）

C　多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。（技能・表現）

D　様々な職種との連携において、看護専門職者としての役割を理解し、多職種による協働活動に参加できる。（技能・表現）

E　地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。（思考・判断）

F　地域社会に暮らす人々の健康課題の解決に向けて、対象に応じた看護を提供できる。（技能・表現）

G 看護学に対する研究的視点をもち、主体的に学ぶ姿勢を有している。（関心・意欲）

目　　次

1　一般選抜・・・

1　一般選抜

1　募集人員

前期日程：一般枠 45 名

地域枠 5 名（※）

（※）地域枠とは、三重県の保健医療を担う人材の確保を目的に設定するものです。

後期日程：10 名（帰国生徒選抜、社会人選抜、多言語多文化選抜の若干名を含む。）

2　出願資格・要件

Ⅰ　前期日程一般枠及び後期日程

次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和 9 年度大学入学共通テストにおいて、本学が指定した教科・科目（※）を受験した者とします。

（※）10 ページ「令和 9 年度三重県立看護大学一般選抜の実施教科・科目等について」を参照してください。

(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和 9 年 3 月卒業見込みの者

(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 9 年 3 月修了見込みの者

(3) 外国において、学校教育における 12 年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者及び令和 9 年 3 月までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 9 年 3 月までに修了見込みの者

(5) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

(6) 文部科学大臣の指定した者

(7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和 9 年 3 月までに合格見込みの者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

(8) 前各号に定めるもののほか、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると学長が認めた者で、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

Ⅱ　前期日程地域枠

次の①、②のいずれかに該当し、かつ、令和 9 年 3 月に高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業見込みの者で、令和 9 年度大学入学共通テストにおいて、本学が指定した教科・科目（※）を受験した者とします。

（※）10 ページ「令和 9 年度三重県立看護大学一般選抜の実施教科・科目等について」を参照してください。

① 三重県内の高等学校に在学する者

② 令和８年４月１日以前から引き続き三重県内に住所を有し、三重県外の高等学校に通学している者

一般枠と地域枠は併願ができます。その場合は、一般枠での合格が優先されます。ただし、地域枠のみの出願はできません。

3 出願期間

「インターネット出願」登録後、郵送又は直接持参により提出する書類がありますので注意してください。

(1) インターネット出願システム登録期間	**令和 9 年 1 月 22 日（金）10 時～ 令和 9 年 2 月 3 日（水）17 時まで**
(2) 出願書類提出期間	**令和 9 年 1 月 25 日（月）～ 令和 9 年 2 月 3 日（水）【17 時必着】**
(3) 入学検定料支払期限	**令和 9 年 2 月 3 日（水）17 時まで**

（※）・直接持参による書類提出の場合の受付時間は、平日の９時から 17 時までです。
（土曜日、日曜日、祝日は受付しません。）

4 出願方法

(1) インターネットを利用した出願のみとします。

「インターネット出願」登録後、入学検定料の支払い及び書類の提出が必要となります。必ず入学検定料を支払った後、書類を期限までに「書留速達郵便」又は「直接持参」により提出してください。

(2) 志願者は、3 ページ【出願の流れ】に記載の手順に従って「インターネット出願」登録後、5 ページの【提出書類】に記載の書類を任意の封筒（角形 2 号（240㎜×332㎜、A4 用紙が入る大きさ））に入れ、必要事項を記入した宛名ラベル（インターネット出願画面から印刷）を封筒の表面に貼付して、「書留速達郵便」又は「直接持参」により三重県立看護大学へ提出してください。

【出願の流れ】

(1) インターネット出願用のページへアクセス

「三重県立看護大学　インターネット出願」と検索し、出願ページへアクセスしてください。
https://www.guide.52school.com/guidance/net-mcn/
ガイダンス画面に掲載されている手順や注意事項を必ず確認してください。その後、手順に沿って個人情報等の登録を行ってください。

(2) 入学検定料及び支払方法の確認

出願ページの「入学検定料の支払」をご確認ください。
https://www.guide.52school.com/guidance/net-mcn/pay/
入学検定料：17,000 円
※サービス利用料は出願者の負担となります。

(3) 登録完了・登録確認票の印刷

登録が完了すると、登録完了画面が表示されるので、「登録確認票」を印刷します。(本人控え)
※登録が完了すると、登録したメールアドレスに「登録完了メール」が届きます。

(4)共通テスト成績請求情報の提供手続（Web 方式）

「インターネット出願」の「出願確認」画面から、「共通テスト成績請求情報の提供手続（Web 方式)」を行ってください。

(5) 入学検定料の支払い

「インターネット出願」の「出願確認」画面、もしくは登録完了画面内に表示される「検定料のお支払い」ボタンをクリックし、遷移先のサイトにて支払方法を選択して入学検定料をお支払いください。
※入学検定料の入金が確認されると、登録したメールアドレスに「入金確認メール」が届きます。
※期限内に入学検定料を入金しても「入金確認メール」が届かない場合は、「インターネット出願」の「出願確認」画面から入金状況の確認をしてください。
※振込手数料は出願者の負担となります。

(6) 写真のアップロードと提出書類チェックシート等の印刷

「インターネット出願」の「出願確認」画面から氏名（フリガナ)、生年月日、整理番号（「登録完了メール」に記載）を入力して表示された画面から写真をアップロード後、提出書類チェックシート、受験票、宛名ラベルを印刷してください。

(7) 書類の提出

5ページに記載の【提出書類】を任意の封筒（角形２号（240mm×332mm、A4 用紙が入る大きさ))に入れ、必要事項を記入した宛名ラベル（(6)で印刷）を封筒の表面に貼付して、書留速達郵便又は直接持参により提出してください。

(8) 出願完了後

受験票（(6)で印刷）は、試験日まで大切に保管し、当日忘れずに持参してください。
受験上の注意事項を試験日の約 1 週間前に本学ホームページに掲載しますので、必ず確認してください。

※インターネット出願の操作方法に関して不明な点がある場合は、出願ページの「よくある質問」をご確認ください。(https://www.guide.52school.com/guidance/net-mcn/faq/)

【写真アップロード時の注意事項】

※写真データは、上半身正面、無帽、無背景で、出願前３か月以内に撮影したものを準備してください。アプリ等で加工・修正を施したものは使用できません。また、白黒、カラーどちらでも可とします。

※写真のデータサイズは、100KB 以上、5MB 以下であることが必要です。

※写真データ形式は、「JPG/PNG」のいずれかであることが必要です。

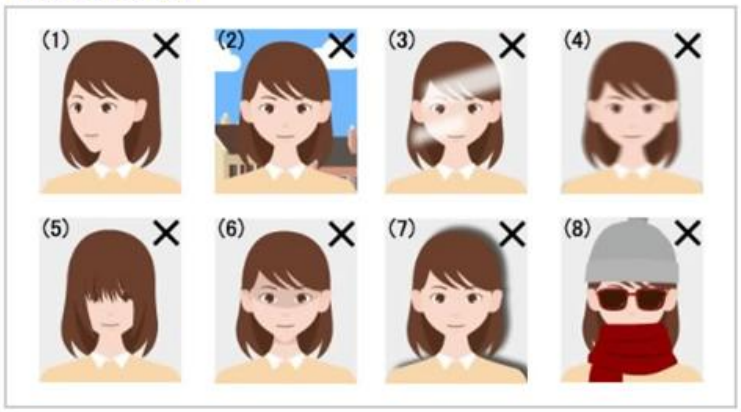
※提出書類の郵送後は、アップロードした写真の変更ができません。予め登録前によく確認の上、アップロードしてください。

なお、この写真データを使用して学生証を作成します。卒業時まで利用しますので、服装等については十分配慮したものにしてください。（制服・私服は問いません。）

【適切な写真の例】



【不適切な写真の例】



(1)正面を向いていない(顔が横向き等)
(2)無背景でない(風景や柄が写っている)
(3)照明が反射している(顔や眼鏡に光が反射していて一部が見えない)
(4)ピンボケや手振れにより不鮮明
(5)前髪が長すぎて目元が見えない
(6)顔に影がある
(7)背景に影が写っている
(8)マフラーやスカーフで輪郭が隠れている

【提出書類】

提出書類	作成方法
提出書類 チェックシート	「インターネット出願」の「出願確認」画面から印刷してください。また、提出書類がそろっているか、提出書類チェック欄で確認をしてください。
調査書等	⑴ 出身高等学校長が文部科学省所定の様式（A4 両面 1 枚）により作成し、厳封したものを提出してください。 ⑵ 高等学校卒業程度認定試験（「大学入学資格検定」を含む。）合格者は、その合格成績証明書を提出してください。なお、この合格者で高等学校に在学したことのある者は、在学期間中の調査書を併せて提出してください。 ⑶ 高等専門学校第３学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者の調査書については、文部科学省所定の様式に準じて作成したものを提出してください。 ⑷ 外国において、学校教育における 12 年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものは、当該課程を修了したことを証明する書類及び最終学校の成績証明書等を提出してください。 ⑸ 文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者は、成績証明書を提出してください。 ⑹ 国際バカロレア資格取得者については、その資格証書の写しと国際バカロレア最終試験科目６科目の成績評価証明書を提出してください。 ⑺ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格取得者については、一般的大学入学資格証明書の写しを提出してください。 ⑻ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格取得者については、その資格証書の写し及びバカロレア資格試験成績証明書を提出してください。 ⑼ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格取得者については、成績評価証明書の写しを提出してください。 ⑽ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているインターナショナル A レベル資格取得者については、成績評価証明書の写しを提出してください。 ⑾ 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロピアン・バカロレア資格取得者については、その資格証書の写しを提出してください。 ※記録保存期間の経過、廃校・被災その他の理由により調査書が発行されない場合は、卒業証明書に加えて、成績証明書又は単位修得証明書等の成績を証明する書類、若しくは「発行できない旨の文書」を提出してください。
地域枠出願書 （※前期日程地域枠に出願する場合のみ）	前期日程地域枠に出願（一般枠と併願）する場合は、志願者本人が記入し、提出してください。 ※様式は、本学ホームページまたは「インターネット出願」ガイダンスの「募集要項」画面からダウンロードして使用してください。
住民票抄本 （※前期日程地域枠に出願する場合のみ）	１ページの**「2 出願資格・Ⅱ 前期日程地域枠・要件②」**により出願する場合は、志願者本人の「住民票抄本」を提出してください。（志願者本人が三重県内の高等学校に在学している場合は提出不要です）

5　書類提出先

〒514-0116
三重県津市夢が丘１丁目１番地１
三重県立看護大学　教務学生課　入試担当
電話　059-233-5602

6　受験票について

「インターネット出願」登録後、プリンターで印刷した受験票を、**大学に送付する必要はありません。**試験日まで大切に保管し、**当日必ず持参してください。**

7　出願上の注意事項

（12 ページの 11　**留意事項**　も参照してください。）

(1) 「インターネット出願」登録を複数回行った場合は、入学検定料を支払った整理番号の出願内容が有効になります。
(2) 「インターネット出願」を登録し、入学検定料を支払うと受験番号が付与されますが、提出された書類に不備があった場合等は受験できないことがあります。
(3) 「インターネット出願」登録における氏名等の漢字入力は JIS 第 1、第 2 水準とします。（例：髙→高など）
(4) 必要書類が全てそろっていない場合には、書類の受理ができません。提出の際は十分確認してください。
(5) 出願を受理した後は、出願事項の変更は認めません。ただし、住所、氏名、電話番号に変更があった場合には、出願先まで連絡してください。
(6) 外国語で書かれた書類については、日本語訳を添付してください。
(7) 前期日程、後期日程のそれぞれに出願手続を行うことができます。
　なお、「インターネット出願」登録時に前期日程、後期日程をまとめて出願した場合でも、書類は個々に作成して提出してください。
(8) 令和 9 年度大学入学共通テストで本学が指定する教科・科目を受験しているか、十分確認の上出願してください。
(9)　一度受理をした出願書類及び入学検定料は、返還しません。
　入学検定料の返還請求ができるのは、以下の場合のみです。なお、返還に係る振込手数料は出願者の負担となります。
　それ以外の場合は、いかなる理由があっても払込済の入学検定料は返還しません。
　返還請求の方法は、三重県立看護大学教務学生課（電話：059-233-5602）にお問い合わせください。
　ア　入学検定料を払い込んだが三重県立看護大学に出願しなかった（出願に伴う提出書類を三重県立看護大学に提出しなかった）又は出願が受理されなかった場合
　イ　入学検定料を二重に払い込んだ場合

※プリンターをお持ちでない、印刷ができない等の場合には、三重県立看護大学教務学生課までご連絡ください。

8　障害等のある入学志願者との事前相談

本学に出願を希望する者で、障害（学校教育法施行令第 22 条の 3 に定める障害の程度）があり、受験及び修学において配慮を必要とする者は、令和 8 年 12 月 15 日(火)17 時までに三重県立看護大学教務学生課へ相談してください。

なお、出願受付締切後の不慮の事故による負傷者等においても、配慮を必要とする者に該当する場合は、速やかに連絡してください。

9　選抜方法等

(1) 選抜方法

前期日程 ： 調査書の審査、大学入学共通テスト、本学が実施する個別学力検査及び面接の結果を総合して行います。

後期日程 ： 調査書の審査、大学入学共通テスト、本学が実施する面接の結果を総合して行います。

(2) 試験日・時間割

① 前期日程

試　験　日	教　科　等	時　間　割	遅刻者入室限度
令和 9 年 2 月 25 日（木）	個別学力検査（外国語）	9:00～10:00	9：20
	個別学力検査（国語、数学）	10:40～11:40	11：00
	面　　接	13:00～	13：00

② 後期日程

試　験　日	教　科　等	時　間　割	遅刻者入室限度
令和 9 年 3 月 12 日（金）	面　　接	9:30～	9：00

(3) 試験場（16～17 ページ参照）

三重県立看護大学（三重県津市夢が丘 1 丁目 1 番地 1）

（注）受験者及び引率者用の駐車場は設けませんので、電車、バス等の公共交通機関を利用してください。

(4) 受験上の注意事項

① **試験場の案内・開場時刻については、本学ホームページ**（https://www.mcn.ac.jp）**に試験日の約 1 週間前に掲載しますので確認してください。**

② 試験に関する諸注意を行いますので、**前期日程受験者は 8 時 40 分までに試験室に、後期日程受験者は 8 時 40 分までに面接控室に**入室してください。

③ 遅刻者入室限度までに入室しなかった場合は、受験することができません。

④ **個別学力検査（前期日程のみ）及び面接試験を受験しない者は、入学者選抜の対象から除外します。**

⑤ 試験当日は、**「受験票」「大学入学共通テスト受験票」「黒鉛筆又はシャープペンシル（前期日程のみ）」「プラスチック製消しゴム（前期日程のみ）」**を必ず持参してください。

⑥ 前期日程の個別学力検査の試験時間中は、上記⑤の持ち物のほかに次の所持品を机の上に置いてよいものとします。

「鉛筆キャップ」

「鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）」

「時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可）」

「眼鏡」「ハンカチ」「目薬」「ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）」

「シャープペンシルの替え芯、替え芯のケース」

⑦ 携帯電話やスマートフォン、タブレット、ウェアラブル端末などの電子機器類は、アラームの設定を解除し電源を切り、かばん等に入れてください。面接試験においては、アラームの設定を解除し電源を切った後、配付する封筒に入れ、かばん等に入れてください。

⑧ 試験当日、受験票を忘れた者は、速やかに受験票の再発行手続を行ってください。また、**「受験票」は、入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。**

⑨ 試験場では監督者等の指示に従ってください。

⑩ 入室後は試験終了まで学外に出ることができませんので、昼食等は必要に応じて各自持参してください。

⑪ 受験者数によって、面接の終了時間が遅くなることがあります。

⑫ 災害その他の事情により、所定の試験日程による試験実施が困難になった場合等は本学ホームページ（https://www.mcn.ac.jp）でお知らせしますので、必ず確認してください。

(5)不正行為

① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります

ア 出願手続きの際に、入力項目やアップロードする顔写真データに故意に虚偽の情報を登録すること。

イ 解答用紙へ故意に虚偽の記入（本人以外の氏名・受験番号を記入するなど）をすること。

ウ カンニング（試験に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。

エ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

オ 配付された問題冊子を、試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。

カ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。

キ 監督者の指示の前に問題冊子を開いたり解答を始めること。

ク 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、 そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。

ケ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞

書、ＩＣ レコーダー等の電子機器類を使用すること。

コ 試験終了の指示の後に鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

ア 試験時間中に定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ＩＣレコーダー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身につけていたり、手に持っていること。

イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。

エ 試験会場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

オ 試験会場において監督者等の指示に従わないこと。

カ その他、試験の公平性を損なう恐れのある行為をすること。

令和９年度三重県立看護大学一般選抜の実施教科・科目等について

区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
	教科	科目名等	教科	出題範囲・科目名等	試験区分	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	面接	配点合計
前期日程	国語	国語(必須)	外国語(必須)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ	共通テスト	100	＊100		100	100	100	50		550
	地理歴史	「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「地理総合、地理探究」、「地理総合／歴史総合／公共」から2 から1												
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合／歴史総合／公共」から2(再掲)	国語／数学 1教科選択	現代の国語、言語文化 (古文・漢文を除く。)	個別学力検査(注1)(注2)	＊110			＊110		110		※	220
	数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」から1		数学Ⅰ、数学Ⅱ、 数学A、数学B、数学C (数Ⅰ・数Ⅱ・数A：全範囲) (数B:「数列」、数C:「ベクトル」)										
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2、又は「物理」、「化学」、「生物」から1												
	外国語	英語(必須)												
	情報	情報Ⅰ(必須)			計	100 ＊210	＊100		100 ＊210	100	210	50	※	770
		〔6教科6科目〕又は〔6教科7科目〕	その他	面接										
後期日程	国語	国語(必須)	その他	面接	共通テスト	(注3)	＊(注3)		(注4)	(注4)	100	50		750
	地理歴史	「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「地理総合、地理探究」、「地理総合／歴史総合／公共」から2 から1												
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合／歴史総合／公共」から2(再掲)			個別学力検査								※	
	数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」から1												
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2、又は「物理」、「化学」、「生物」から1												
	外国語	英語(必須)			計	(注3)	＊(注3)		(注4)	(注4)	100	50	※	750
	情報	情報Ⅰ(必須)												
		〔6教科6科目〕又は〔6教科7科目〕												

＜大学入学共通テストの利用教科・科目名＞欄

・外国語については、共通テストにおいて実施される『英語』200 点（「リーディング」100 点と「リスニング」100 点）における得点を、100 点満点とした得点へと換算します。受験上の配慮事項によりリスニングを免除された者については、リーディングの成績（100 点満点）を２倍して 200 点満点とし、その得点を 100 点満点とした得点へと換算します。
・情報については、共通テストにおいて実施される『情報Ⅰ』100 点における得点を 50 点満点とした得点へと換算します。
・指定した教科数・科目数を超えて受験した場合には、高得点の教科・科目の成績を利用します。
・令和９年度入学者選抜では、令和９年度大学入学共通テストの成績を利用します。
・令和９年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験しなかった場合は失格となり、個別学力検査等を受験できません。

＜大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等＞欄

・配点に＊印を付してある教科は選択教科を表します。
・「面接」は、表現力、主体性等を評価します。ＡＢＣの 3 段階評価を行い、その評価がＣの場合は、総合得点の如何にかかわらず不合格とします。
・（注 1）選択教科による不公平が生じないようにするため、得点調整を行う場合があります。
・（注 2）前期日程地域枠においては、大学入学共通テストに加え、個別学力検査 3 教科（外国語、国語、数学）のうち高得点の 1 教科の成績を利用します。

・(注 3) 後期日程において、大学入学共通テストの国語、地理歴史、公民については、100 点換算後、最高得点科目の教科を 200 点配点とし、残りの教科を 100 点配点とします。
・(注 4) 後期日程において、大学入学共通テストの数学、理科の 2 教科については、最高得点科目の教科を 200 点配点とし、残りの教科を 100 点配点とします。

10 合格発表

(1) 発表日時

試験日程	日　時
前期日程	令和 9 年 3 月 5 日（金）13 時
後期日程	令和 9 年 3 月 20 日（土）13 時

(2) 発表方法

合格者には、合格通知書および入学手続関係書類等を郵送するとともに、本学ホームページ（https://www.mcn.ac.jp）上に合格者の受験番号を掲載します。

この合格通知書をもって正式な通知といたします。

ホームページ上に掲載する合格者受験番号は、あくまでも情報提供サービスの一環として掲載するものですので、正式には合格通知書でご確認ください。

（郵送先は「インターネット出願」で登録した「住所」とします。）

電話等による合否結果の問い合わせには一切応じません。

※ホームページにアクセスが集中すると、閲覧ができなくなることがありますのでご注意ください。

(3) 追加合格

入学手続期間終了後、募集定員に欠員が生じた場合には、追加合格を行うことがあります。

追加合格者には、前期日程、後期日程とも令和 9 年 3 月 28 日（日）8 時以降、インターネット出願時に登録された「緊急連絡先」に電話連絡します。

連絡がとれない場合は追加合格の対象者となりませんので、この時間に連絡がとれるようにしてください。やむを得ない事情により電話対応が困難な場合は、令和 9 年 3 月 25 日（木）17 時までに三重県立看護大学教務学生課へ相談してください。

なお、追加合格を行う場合のみ、本学ホームページ（https://www.mcn.ac.jp）でお知らせします。

11　留意事項

(1) 他の国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の推薦入試合格者は、その大学の定める推薦入学辞退手続により入学辞退を許可された場合を除いて、本学を受験する事はできません。

(2) 本学の前期日程に出願した場合、他の国公立大学の前期日程との併願はできません。また、本学の後期日程に出願した場合、他の国公立大学の後期日程との併願はできません。

(3) 本学の前期日程に合格し、令和９年３月 15 日（月）までに入学手続きを行った者は、他の国公立大学の後期日程・公立大学の中期日程を受験してもその合格者とはなりません。

(4) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センターの受験番号に限って、合否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

(5) 入学を許可した後であっても、出願書類の記載内容と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。

12　災害等の不測の事態への対応について

(1)　災害等の不測の事態により試験が実施できない場合の対応について

災害等の不測の事態により、予定していた日程で試験を実施することができない場合は、本学ホームページ（https://www.mcn.ac.jp）等でお知らせします。

(2)　感染症対策について

① マスクの着用については、受験者の判断としてください。
ただし、監督者が必要と認めたときは、受験者に対し、一時的にマスクの着脱を指示することがあります。

② 試験室の換気のため窓の開放等を行いますので、防寒具等を持参してください。
また、試験会場で食堂の営業等は行わないため、昼食を持参し、指定された席で食事をとってください。

(3)　問い合わせ窓口

前期日程は令和９年２月 25 日（木）、後期日程は令和９年３月 12 日（金）それぞれ午前９時まで、以下のとおりとします。（受付時間は原則、平日９時から 17 時まで。）

三重県立看護大学　教務学生課（入試担当）

電話　059-233-5602

2　入学手続、初年度納付金

1　入学手続

(1) 入学手続期間

試験日程	期　間
前期日程	令和 9 年 3 月 6 日（土）～令和 9 年 3 月 15 日（月）（必着）
後期日程	令和 9 年 3 月 21 日（日）～令和 9 年 3 月 27 日(土)（必着）

(2) 入学手続方法

① 入学手続の際には、誓約書・保証書、本学受験票、国公立大学入学確認票等の書類及び入学金の納入が必要です。詳細は、合格通知書に同封される入学手続要項で確認してください。

② 手続書類の提出は、「書留速達郵便」又は「直接持参」により行ってください。直接持参の受付時間は、平日の 9 時から 17 時までとします。（**土曜日、日曜日、祝日は受付しません**。）

③ 入学手続を完了した者には、入学手続期間終了後、入学許可書を送付します。

(3) 入学手続場所（16～17 ページ参照）

〒514-0116　三重県津市夢が丘 1 丁目 1 番地 1
三重県立看護大学　教務学生課　入試担当
電話　059-233-5602

(4) 入学手続上の注意事項

① 入学手続期間内に入学手続を完了しなかった者については、入学を辞退したものとして取り扱います。

② 必要な書類及び入学料が全てそろっていない場合には受付できませんので、書類提出の際には十分確認してください。また、入学手続期間を過ぎて到着したものは、受付できません。郵送の場合には所要日数を十分考慮して発送してください。

③ **一度受付をした入学手続書類及び入学料は、返還しません。**

2　初年度納付金

入学手続の際は、下表の入学料を納付する必要があります。

区　分		金　額	備　　考
入学料	三重県内者	188,000 円	次のいずれかに該当する者 ① 入学者本人が、令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までの 1 年間、継続して三重県内の市町に住民登録する見込の者 ② 入学者の 1 親等の親族又は配偶者が、令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までの 1 年間、継続して三重県内の市町に住民登録する見込の者 （①、②とも（注）2 の確認書類を後日提出していただきます。）
	その他の者	376,000 円	上記以外の者
授　業　料		535,800 円 （年額）	入学後、前期（6 月）、後期（11 月）の 2 回に分けて徴収します。
その他経費			教科書代、実習衣代、後援会費、学生総合共済・学生賠償責任保険等の費用が別途必要となります。

（注）1　入学料及び授業料は改定される場合があります。また、在学中に授業料が改定された場合には、改定時からの新授業料が適用されます。

2　「三重県内者」に該当する場合、確認書類として①の該当者は入学者本人、②の該当者は入学者の 1 親等の親族又は配偶者の「住民票抄本」（発行日が令和 9 年 4 月 1 日以降のもの）を令和 9 年 4 月に提出していただきます。

3　上表の入学料の三重県内者で、入学手続の際に提出した申請書内容等に変更が生じ、三重県内者の要件を満たさなくなった場合は、188,000 円を追加徴収します。

3　その他

1　個人情報の取扱いについて

本学では入学者選抜等を通して大学が保有することになる個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」「三重県個人情報の保護に関する法律施行条例」並びに「公立大学法人三重県立看護大学が保有する個人情報の管理に関する規程」等により適正な管理を行います。

なお、本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報については次の目的に利用します。

(1) 入学者選抜（出願処理、試験実施、成績処理、合格発表・通知等）にかかる業務、入学手続にかかる業務、入学者選抜方法の調査・研究等の入試事務及び付随する業務

(2) 教務事務（学籍、修学指導等）、学生支援事務（健康管理、奨学金申請等）、授業料等の収納事務及び付随する業務

2　個人別評価の提供

受験者本人の請求により選抜試験の個人別評価を提供します。

(1) 提供する個人別評価の内容

大学入学共通テスト成績の教科別得点、合計得点、個別学力検査の得点（前期日程のみ）、面接の評価

(2) 提供期間

令和 9 年 4 月 12 日（月）～令和 9 年 5 月 14 日（金）まで

（土曜日、日曜日及び本学の指定する日を除く 9 時から 17 時まで。郵送の場合は消印有効。）

(3) 申請に必要な書類

① 三重県立看護大学入学者選抜試験に係る個人別評価請求書

② 本学受験票

③ 大学入学共通テスト受験票

④ 返信用封筒（個人別評価送付用）

（郵送で請求の場合、角形 2 号封筒（240㎜×332㎜、A4 用紙が入る大きさ）に、本人の郵便番号、住所、氏名を明記の上、簡易書留郵便分の切手を貼ってください。）

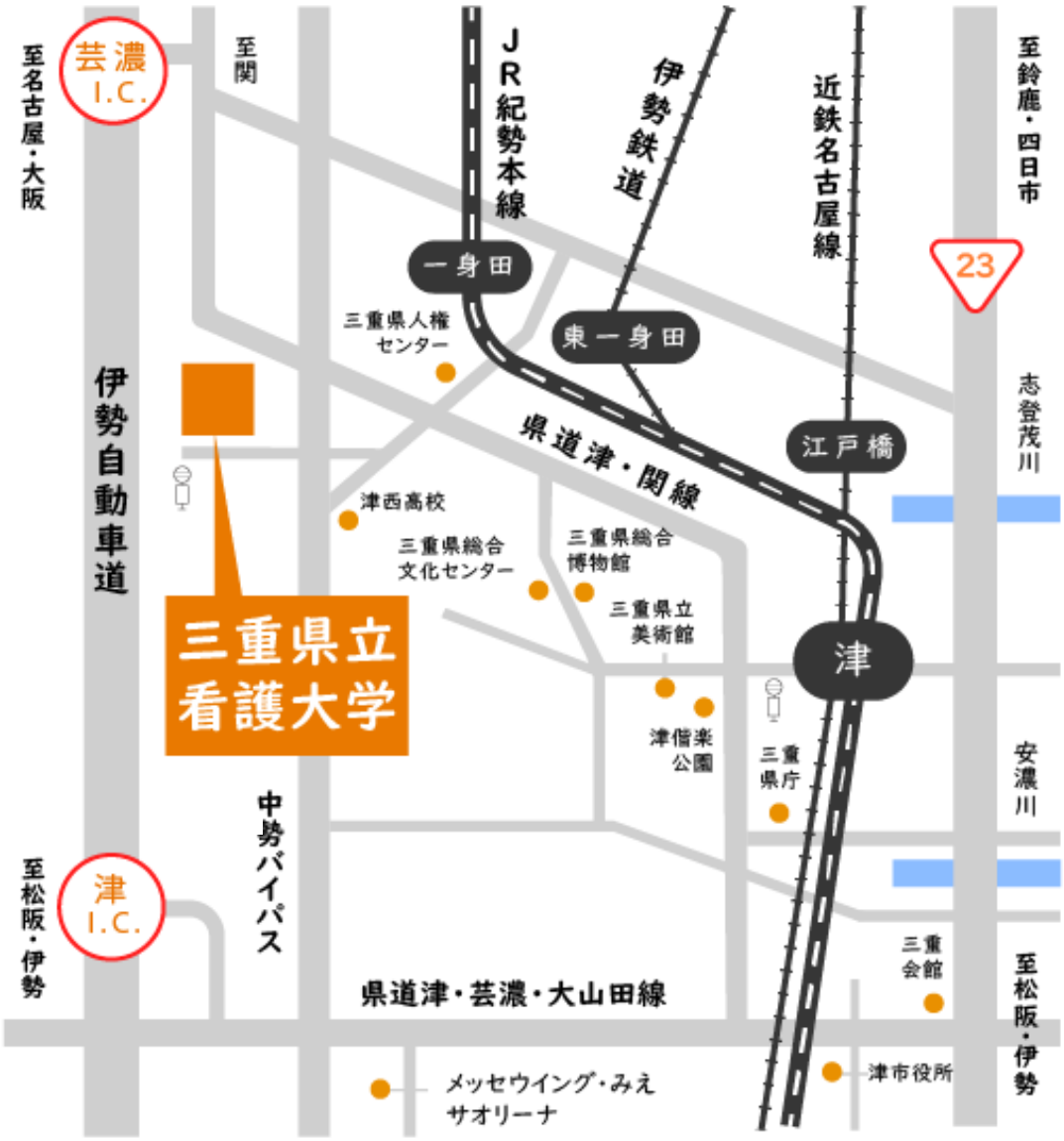
（注）①の請求書の様式は、提供期間中、本学ホームページに掲載します。
直接来学して請求することも可能です。その場合、④は不要です。

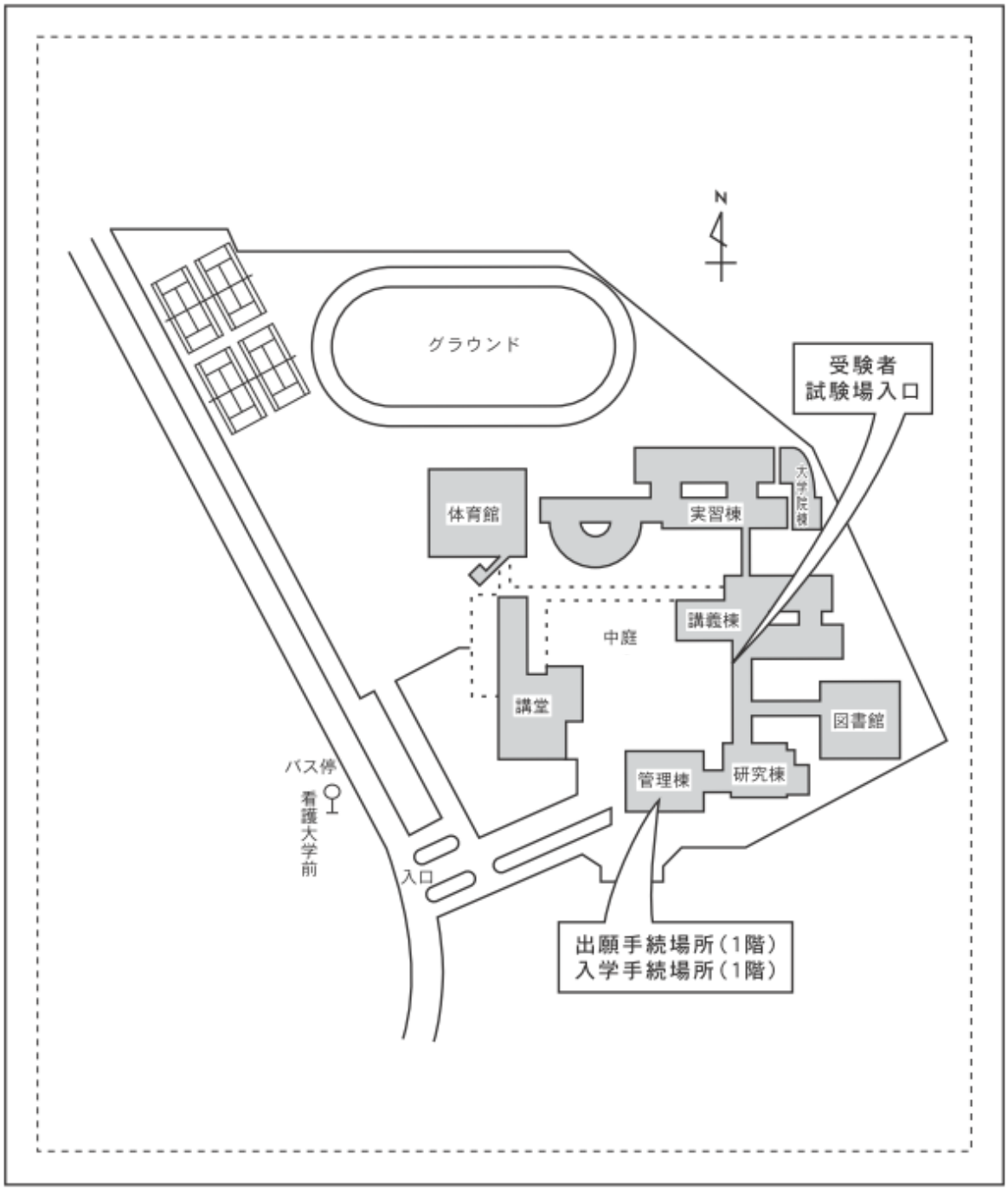
(4) 請求先

〒514-0116
三重県津市夢が丘 1 丁目 1 番地 1
三重県立看護大学　教務学生課　入試担当
電話　059-233-5602

試験場・入学手続場所案内図

三重県立看護大学
三重県津市夢が丘１丁目１番地１
［交通案内］
ＪＲ・近鉄　津駅西口（近鉄側）より三重交通バス
看護大学夢が丘線「看護大学前」バス停下車




N
グラウンド
受験者
試験場入口
体育館
実習棟
大学院棟
講義棟
中庭
講堂
図書館
管理棟
研究棟
バス停
看護大学前
入口
出願手続場所（1階）
入学手続場所（1階）

公立大学法人
三重県立看護大学教務学生課
〒514-0116
三重県津市夢が丘１丁目１番地１
電話：059-233-5602

Japan University Accreditation Association
UNIVERSITY ACCREDITED
2020.4～2027.3